

研修会報告

2025 年 7 月 26 日

文 責：宮城県医師会健康センター 目黒 清可

研修会テーマ 「血尿！？もう怖くない. 尿検査から疾患まで」

開催日時 令和 7 年 7 月 26 日（土） 13：00 ～15：45

会 場 Zoom ウェビナーを用いた Web 開催

司 会 東北医科薬科大学病院 検査部 奥 明日香

仙台市立病院 臨床検査科 古川 楓

生涯教育点数 専門教科 20 点

参加者 会員参加者 41 名 入会申請中会員 0 名 非会員 1 名 賛助会員 0 名 学生 0 名

合計 42 名

13：05～13：45 講演 1 「血尿から何を考える？ ～泌尿器編 尿沈渣を中心に～」

東北医科薬科大学病院 検査部主任 星 くに子 技師

13：45～14：25 講演 2 「赤血球をよくみよう ～赤血球形態の基本鑑別～」

仙台市立病院 臨床検査科 古川 楓 技師

14：35～15：35 講演 3 「臨床医からみた糸球体性血尿」

仙台市立病院 腎臓内科部長 山本 多恵 先生

15：45 頃 終了予定

内容

本研修会は「血尿！？もう怖くない. 尿検査から疾患まで」をテーマに、Web 研修会を開催した。

講演 1 では、東北医科薬科大学病院の星技師より、血尿が見られた際の考え方について実際の症例をもとに講演いただいた。尿定性・沈渣の結果に加えて培養や超音波検査といった結果も交えて丁寧に解説いただき、普段他部門との連携が難しいご施設でもより病態への理解を深めることができたのではないかと考える。

講演 2 では、仙台市立病院の古川技師より、血尿の定義および原因疾患とその検索の流れ、診断の一助となる尿沈渣中の赤血球形態の鑑別ポイントについて講演いただいた。迅速でより意義の高い検査報告を行うために必要な基礎的知識を改めて学ぶ機会となった。

講演 3 では、仙台市立病院の山本先生より、血尿診断ガイドライン・腎臓病総合レジストリーについて、血尿あるいは蛋白尿を呈する代表的な疾患である IgA 腎症、ANCA 関連腎

炎についての解説や、コロナワクチン接種後に肉眼的血尿がみられた場合の解釈について臨床医の視点からご教授いただいた。尿沈渣中への赤血球の出現やその形態が、受診科や腎生検の必要性の有無を判断する際に有用であることを再認識した。

また昨今、新規透析導入となる患者割合が増加傾向にあるという現状から、仙台市として各医療機関・団体間での連携強化を図り、早期に腎臓専門医への紹介につなげられるような仕組みを構築、実施しているといったお話をいただいた。

今回のアンケート結果を踏まえながら、より宮城県臨床検査技師会員のニーズに沿った研修会を提供していきたいと考えている。